

令和6年6月17日

## 選定実習（低木類の剪定）

今日の剪定実習場所は、米原市米原にある国指定の名勝、青岸寺です。



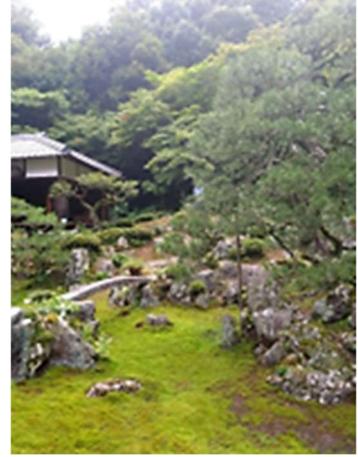
- 青岸寺の正門。門の向こうに 我々を最初に迎えてくれるのは、立派な百日紅の木。



普段は白砂の代わりに苔で海を表現した枯れ山水庭園。梅雨などで雨が続くと伏水流が染み出し、池泉水に変身する。

水底に青々とした苔が沈み、キラキラと水面に反射する様子は「苔の生命力を感じる」。雨の日は普段より参拝客が少ない。静かな境内で雨音に耳を澄ましていると心が休まる。

2024年5月18日付 ~日経プラス1~ より



• 見事な苔で表現した枯れ山水庭園だ。



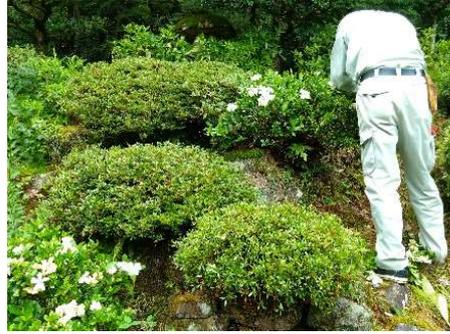
先生の挨拶と今日剪定する課題と注意事項。前回清凉寺の剪定実習で注意を受けましたので、先生の話が学生たちはしっかり聞いていました。国指定の庭園ですので、石ころ1個も移動させられません。　すごくプレッシャーがかかる剪定実習でした。



• 剪定前の庭園

• さあ 剪定実習開始!!  
低木のサツキやツバキを中心に実習です。





• 先生のお手本剪定

.....お・ひ・る・や・す・み.....

• 午後は「ツバキ」を中心に剪定実習





・松が一部枯れていた。カミキリ虫が残して木屑の形跡が残っている。



◎クビアカツヤカミキリ カミキリムシ科に分類されるサクラやモモの木を食害する害虫であり日本では2018年(平成30年)1月に環境省により特定外来生物に指定された]「食害」繁殖力は大変強く、1匹の雌が300-1000個もの卵を産む。日本では孵化して2年後の6月中旬-7月下旬に成虫となり、幹から脱出して交尾した後に産卵するというサイクルを経て、個体数を増やす

幼虫は樹木内部を食い荒らすため、寄生された樹木が枯死することもある。特に桜の大敵とされ、大量に植樹されているソメイヨシノの被害が顕著であり、被害拡大防止の観点から



サクラが伐倒される事態が相次いでいる。このことから本種が特定外来生物に指定された。埼玉県環境科学国際センターでは、サクラへ寄生するクビアカツヤカミキリ対策を広く公開している。2019年初旬には奈良県と三重県でも確認されており、滋賀県では報告されていませんが、生息している可能性もある。見つければ市町に報告しよう。フリー百科事典『ウィキペディア



(Wikipedia)』より。



• 時の流れを感じる竹製の井戸のかぶせもの

• 本堂に向かって、左手奥の通路にはツバキ等の木々が鬱蒼と葉が茂っていました。ここは、普段は本堂からは見えませんが、障子を開けると見えるところです。剪定も疎かにはできません。

【剪定前】



【剪定後】



【北村先生を囲んで、サポートの会の先輩と44期生園芸学科】

## 6月の憧憬

雨だというのに窓を 開けて 外をじっと見ている  
トレモロの様に いつまでもシトシトと振り続く  
今日の雨が あまりにも優しくすぎるから その人の笑顔にしっかりと答えられるだ  
ろうか と 少し心配になってきた

もう少し コーヒーを飲みながら バイロンの詩集を読もうと思うけれど  
雨の美しい 和音が ピアニッシモの様に 消えてゆくのが 気になる  
胸の奥に閉じ込めていた 君への憧憬を隠すことができない この胸のときめき

いくつもの予想と期待を抱いて 空の雲の様子と風の向きを見ながら  
用心のため 傘を持って行くことにした

えがおには ほほえみを そうすれば きっと色を競い合い  
僕を迎えてくれるだろう

そう その人は 紫陽花、、、。